

「あすチャレ！スクール」資料

【あすチャレ！スクール実施団体について】日本財団パラリンピックサポートセンター（通称：パラサポ）は、東京2020パラリンピック競技大会の成功とパラスポーツの振興を目的に、2015年5月に日本財団の支援により設立され、11月には日本財団ビル4階にパラリンピック競技団体共同オフィスがオープンしました。その一つの取り組みとして2016年度よりパラスポーツ体験を通じて、パラスポーツの知識や認知を高めるとともに、「障がい」に対する理解を深めることを目的に、全国の小中高等学校の児童生徒を対象にあすチャレ！スクールを実施しています。

【「あすチャレ！スクール」について】

協賛：日本航空株式会社

- ・対象：小中高等学校の児童生徒
- ・2017年度実施目標 250校
- ・2016年度実施実績：20都府県 116校(18575名)



2016年度は車椅子バスケットボール体験をベースに実施するため、大型バンに車椅子バスケットボール用車椅子10台を積載し、4月より全国を巡回しました。また、10月より新たに「ゴールボールプログラム」を開始しました。

【今後の展開予定】

- ◆あすチャレ！スクールの中でその他のパラスポーツ競技の講師を育成しながら、体験種目及びプログラムの充実化を図り、2020年までに1,000校での実施を目指します。
- ◆特別支援学校等に通う児童生徒に対してのプログラムも開発していく予定です。

<「あすチャレ！スクール」の特徴>

- ・①パラスポーツデモンストレーション⇒②パラスポーツ体験⇒③講話
上記の流れで実施することで、初めにパラスポーツの「すごさ」「かっこよさ」を体感でき、「障がい」に対する意識の転換を図り、「伝えたい気づきと学び」をより効果的に促すことができます。
- ・「あすチャレ！スクール」で得た気づき・挑戦したいことを行動につなげるために、自分自身の「明日へのチャレンジ＝あすチャレ！」を授業実施後にワークシートに記入してもらいます。

他者のことを自分ごととして考える心	障がいとはなにか？
可能性に挑戦する勇気	「夢」や「目標」を持つ力

<子どもたちが気づきと学びを深めるためのツール>

・「i enjoy !」折り紙

子ども達が自分自身の「あすチャレ！」を折り紙に書いて
キーホルダーとして携帯することで、
より持続的に意識し、行動することにつながります。



・「パラサポ新聞」

パラリンピック競技や選手、パラスポーツに関わる
パラサポの取り組みなどについて、子ども達にも親しみ
をもって学んでもらえる新聞を配布します。



※プログラムの詳細及び応募要項については「あすチャレ！スクール」パンフレットを参照ください。公式WEBページよりのダウンロードも可能です。<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

メディアの皆さまへのお願い

記事、番組でご紹介いただける際には、「日本財団パラリンピックサポートセンター」の正式名称をお使いいただけますようお願いしております。ご面倒をおかけしますが、ご理解ご協力いただけましたら幸いです。

【本件についてのお問い合わせ】

日本財団パラリンピックサポートセンター 広報部 遠竹（ととたけ）

The Nippon Foundation Paralympic Support Center

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階

TEL: 03-6229-3721 / FAX: 03-6229-3722 / Email: c_totake@parasapo.tokyo

根木 慎志 (ねぎしんじ)

シドニーパラリンピック男子車椅子バスケットボール日本代表キャプテン/
日本財団パラリンピックサポートセンター「あすチャレ!」プロジェクトディレクター

岡山県生まれ。高校3年生の時、突然の交通事故で脊髄を損傷。以後、車椅子での生活となるが知人の勧めで車椅子バスケットボールに出会う。2000年シドニーパラリンピックでは男子車椅子バスケットボール日本代表キャプテンを務める。現役時代から「出会った人と友達になる」というライフテーマをモットーに全国各地の中小高等学校を訪れ、講演やパラスポーツ体験授業を行ってきた。現在はこれまでの経験を活かし「あすチャレ! スクール」の講師として全国各地で授業を行う。日本パラリンピック委員会運営委員も務める。



根木先生の「あすチャレ!」

出会った人と
友達になる
根木 慎志

高田 朋枝 (たかだともえ)

北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表

5歳のころに網膜色素変性症で視力が低下し、現在は明暗が分かる程度。高校の体育の授業でゴールボールと出会い、2008年に北京パラリンピック出場。大会後、ゴールボール視察を目的に欧米10か国を回る。帰国後はこの経験を生かし普及活動に尽力。現在は、あすチャレ! スクールの講師として活動する傍ら、選手として2020年東京パラリンピックへの日本代表を目指す。



高田先生の「あすチャレ!」

Making
the whole
world happy
高田 朋枝

神保 康広 (じんぼやすひろ)

パラリンピック男子車椅子バスケットボール元日本代表(4大会出場)

東京生まれ。16歳の時にバイクの自損事故で下半身麻痺に。1992年バルセロナから2004年アテネまで、4期連続パラリンピック出場。2000年、レイクシヨア財団研修生として渡米、障がい者スポーツ指導法を学ぶ。NWBA(全米車椅子バスケットボール協会)デンバーナゲッツ在籍、全米選手権ベスト4。2006年マレーシアに渡り、車椅子バスケットボールの普及活動及びナショナルチームコーチ就任。現在、(株)松永製作所でスポーツ車椅子のブランドマネージャーとして製品企画・開発及びCSR活動に従事。2015年よりジンバブエ国にて車椅子バスケットの普及活動及び選手指導を継続中。



神保先生の「あすチャレ!」

スポーツで
世界中を
ひとつにしたい!
神保 康広